

# おうめ 市議会だより

No. 259  
令和4年(2022年)8月15日  
発行 / 青梅市議会  
電話番号 / 0428-22-1111 (代)

## 主な内容

- 5月招集・6月定例議会のあらまし、議事人事、市長提出議案の主な内容、議員提出議案の主な内容、議会日誌 1
- 一般質問..... 2~5
- 審議された議案と議決結果、陳情の審議結果、全員協議会から、特別委員会から、福祉文教委員会研修会、意見書、9月定例議会会議予定 6

## 令和4年青梅市議会定例会 5月招集議会・6月定例議会 補正予算など全13議案を原案どおり可決しました

【5月招集議会】 5月17日に開催され、令和4年市議会定例会の会期が令和4年5月17日から令和5年4月30日までの349日間と決定しました。  
議案審議の前に、副議長選挙が行われ、鴻井伸二議員が選出されました。また、各委員会委員の補充選任が行われました。  
上程された市長提出議案は、補正予算1件、条例1件で、原案どおり可決されました(6面参照)。  
【6月定例議会】 6月13日から27日までの15日間の期間で開催され、議案審議が行われた後、一般質問が始まりました。  
一般質問は、13日、14日および15日の3日間にわたって行われ、18人の議員が登壇し、市政に関して市長、教育長らと活発な議論を交わしました(2~5面に要旨を掲載)。  
上程された市長提出議案は、補正予算5件、条例2件、その他3件、議員提出議案が1件で、いずれも原案どおり可決されました。  
また、審議された陳情は、趣旨採択1件、不採択2件(6面参照)および継続審査が1件でした。

### 議 会 人 事

副議長  
鴻井伸二 議員



前副議長結城守夫議員が、令和4年5月2日付けで議員を辞職したことに伴い、5月招集議会で副議長選挙が行われ、選挙の結果、鴻井伸二議員が副議長に選任されました。



小学生が社会科見学で議場を訪れました(写真は6月23日 第五小学校3年生のみなさんです)。議員席に座って『議会』のことを学んだあと、一人ずつ議長席に座ってみるなど、様々な体験をしました。

### 市長提出議案の 主な内容

- 令和4年度青梅市一般会計補正予算(第1・2・3・4号)
  - 歳入歳出予算にそれぞれ8億6274万円を追加し、その総額を542億6274万円とする。
- (第1号補正の主なもの)
  - ▽介護サービス事業所および障害福祉サービス事業所の従事者等に対しPCR検査を実施▽自宅療養者等を対象とした飲食料品の支援▽新型コロナウイルス緊急対策資金融資の増
- (第2号補正の主なもの)
  - ▽看護小規模多機能型居宅介護事業所整備に対する補助加算の増▽風しん抗体検査・予防接種実施期間の延長および子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種の実施▽学校給食の食材費等の高騰分を市で負担
- (第3号補正の主なもの)
  - ▽天ヶ瀬体育館および市民センター体育館に網戸の設置▽介護サービス事業所等および障害福祉サービス事業所が講じた感染防止対策に要する費用を補助▽子育て世代包括支援センターおよび子育てひろばに紫外線殺菌庫を整備▽キャッシュレス決済によるポイント還元およびプレミアム付商品券を発行▽中小企業事業者等のデジタル化推進に要する費用を補助▽特定創業支援等事業の証明を受け、令和2年4月以降に市内で創業した事業者への補助▽外部給電器の整備▽小学校職員用トイレおよび学童保育所に近接するトイレ等を感染症対策トイレに整備▽
- 青梅市義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例(施行日〓令和4年10月1日)
  - 子育て支援の更なる充実を図るため、義務教育就学期にある児童の通院にかかる医療費に関し、市独自の助成事業を行う。
- 青梅市立総合病院使用条例の一部を改正する条例(施行日〓令和4年10月1日および公布の日)
  - 令和4年度診療報酬改定に伴い、非紹介患者加算料を増額するとともに、管理者が特に認める高度医療の実施に当たり、当該高度医療の診療料にかかる患者負担を軽減する。
- 物品の買入れについて  
消防自動車10台
- (契約の方法)  
指名競争入札
- (契約金額)  
1億48228万円
- (契約の相手方)  
日本機械工業株式会社  
本社営業部
- 選択的夫婦別姓制度の議論を求める意見書  
(意見書本文は6面に掲載)

### 議員提出議案の 主な内容

議会日誌	5月招集議会	6月定例議会
17日 議会運営委員会 本会議(開議、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸報告、副議長選挙、議会運営委員および特別委員の補充選任、議案審議、委員会議案審査報告) 予算決算委員会 東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会 総務企画委員会	3日 議会運営委員会 6月定例議会 議会期間(6月13日~27日) (15日間)	13日 議会運営委員会 本会議(開議、会議録署名議員の指名、議会期間の宣告、諸報告、議案審議、陳情審議、一般質問) 本会議(一般質問) 本会議(一般質問) 15日 本会議(一般質問) 16日 総合病院建替特別委員会 福祉文教委員会 環境建設委員会 福祉文教委員会 総務企画委員会 議会運営委員会 本会議(議案審議) 予算決算委員会 全員協議会 東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会 議会運営委員会 本会議(委員会議案・陳情審査報告、議案審議、陳情審議、東京都十一市競輪事業組合議会議員の選挙、閉議) 東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会



# 一般質問

青梅市議会ホームページの議会映像配信にて一般質問のすべての内容を映像で視聴いただけます。

議員名の( )内の表示は、会派名です。  
(自 民) …自民クラブ  
(公 明) …公明党  
(フォーラム) …市民フォーラム青梅  
(共 産) …日本共産党青梅市議団  
(みどり) …みどりのオンブズマン  
(立 憲) …立憲民主党

## 令和4年12月の民生児童委員の再改選の進捗状況について問う



天沼 明議員 (自民)

議員 ①各自治会からの民生児童委員の現在の推薦状況を伺う。

②2月定例会議では定員充足にむけて先進事例を研究するとの答弁だったが、研究成果を伺う。  
③東京都の定年は75歳だが、市として年齢上限の見直しを都へ要請する考えはないか。

市長 ①5月末時点で定員151人に対し、112人の推薦をいただいている。推薦者が決まっていない39人については、引き続き自治会長および現

## 学校体育館の空調設備について問う



阿部 悦博議員 (自民)

議員 ①学校体育館の利用の在り方について市の考え方を伺う。熱中症予防運動指針への考えは。  
②住友金属鉱山アリーナ青梅の空調設備設置に対する評価は。  
③学校体育館の空調設備についての検討状況を伺う。

④具体的なスケジュールを伺う。  
教育長 ①さまざまな用途で使用されており、市民にとって欠くことのできない公共施設であ

民生児童委員を中心に候補者を探しているとのことだが、民生児童委員の年齢上限を超えている自治会が多いことなどから、推薦に苦慮しているとの意見を複数の自治会からいただいている。

②先進事例としては、候補者向けパンフレットの作成等のほか、商工会、保育園長会、シルバー人材センター等の団体にも候補者の情報提供を求めている事例もあった。市としては、民生児童委員の活動について、パンフレットを作成するなど広く広報するだけでなく、担い手の育成にも努めていく。また、推薦に苦慮されている自治会に対しては、自治会長と相談のうえ、



ると認識している。熱中症予防運動指針は児童・生徒の健康や生命の安全を確保するうえで必要な指針であると捉えている。  
③多くの要望があることや、近年の夏季の気温上昇、都の補助制度が令和5年度に終了すること等を踏まえ、早急に進める必要があると認識している。  
④令和4年度にまず全中学校への設置、令和5年度に小学校への設置に向け検討していく。

市長 ②利用者アンケートでは、77%の方が空調設備に満足と回答されている。また、フクチン接種会場として、暑い最中にあっても、無事に業務を行うことができたことと評価している。

## 「青梅市ゼロカーボンシティ宣言」について問う

議員 ①これまでの取り組みと効果を伺う。

地元企業や福祉関係のNPO等にも協力を依頼していく。

③都の担当者へ年齢上限の見直しを求めたが、現時点では見直す考えはないとの回答であった。引き続き機会を捉え、民生児童委員の年齢上限の見直しを都に求めるとともに、負担軽減についても検討していく。

## 消防団の器具置場について問う



山田 敏夫議員 (自民)

議員 ①現在の市内の器具置場の数と管理方法を伺う。

②器具置場の修繕料の過去5年間の平均額を伺う。  
③器具置場の老朽化や消防団員

②今後各種施策を展開していくうえでの課題を伺う。  
③二酸化炭素排出量実質ゼロの実現に向け、市長の決意を伺う。

市長 ①環境基本計画等に基づき取り組んでおり、市民や事業者においては省エネ機器の導入や家電製品のエコ化等に取り組んでいただいている。市ではグリーン購入やLED化、電気自動車等の導入等に取り組んできた。効果としては、2020年度までの短期目標である二酸化炭素10%削減を達成している。  
②目標達成は行政の力だけでは不可能であり、今後どう市民や事業者と連携を図り目標値をクリアしていくかが課題である。  
③市職員の二酸化炭素排出量削減に向けた取り組みや、地元事業者との協定を進めている。私がリーダーシップを執り、市民、事業者と一体となって、

## 用語の解説

注1…RVパーク (2ページ・迫田議員)  
全国規模の民間団体、(一社)日本RV協会が「安全かつ快適な車中泊を楽しめる場所」として認定する車中泊施設。認定には駐車スペースのほか、24時間利用可能なトイレや100V電源が整備されていること等の要件がある。

注2…書かない窓口 (3ページ・湖城議員)  
マイナンバーカード読取機やタブレット端末等を用いて、市民の方が窓口において申請用紙等に記入することなく手続きができる仕組み。

注3…LGBTQ・プライド月間 (4ページ・片谷議員)  
レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(生まれた時の性別と自認する性別が一致しない人)、クィアやクエスチョニング(自分自身のセクシュアリティを決められない、わからない、または決めない人)の頭文字をとった言葉で、性的マイノリティ(性的少数者)を表す総称として使われる。プライド月間は世界各地でLGBTQの啓発活動が行われている6月を指す。

注4…パートナーシップ制度 (4ページ・片谷議員)  
同性等のカップルに婚姻と同等の証明書を自治体が独自に発行する制度。

注5…インボイス制度 (5ページ・藤野議員)  
令和5年10月から適用される、複数税率に対応した消費税の仕入税額控除の方式で、正式名称は適格請求書等保存方式。買い手側が仕入税額控除を受けるためには売り手側から発行を受けたインボイス(適格請求書)の保存等が必要となる。  
インボイス交付のためには、税務署長へ適格請求書発行事業者登録申請をする必要がある。

からの要望等を聞いていくか。  
④消防団員の処遇改善と器具置場の整備についての考えを伺う。  
市長 ①消防団8分団37部それぞれに、消防自動車を保管する器具置場が各1か所あり、合わせて44か所である。管理は消防団にお願いしている。  
②蛍光灯等の軽微な修繕は各部

の運営費で対応している。塗装修繕等の費用は市で対応しており、平成28年度からの5年間の平均額は、1,033万円余である。  
③半数近くが建設から30年以上経過しており、屋上防水や設備等の劣化が進んでいることは承知している。消防団からも雨漏り等の報告や修繕、改修等の要望を受けている。修繕や設備改修に当たっては、現地調査、確

認を行い、必要な予算措置を講じ対応している。今後も適切な対応に努めていく。  
④昨年からの、処遇改善や組織など青梅市消防団の在り方について検討がされており、2月に中間報告を受け、今年度から出勤報酬の引き上げを行った。今後、組織の見直しを含めた将来の消防団の在り方を検討したく中で、

しており、費用は平均15万から20万円程度とのことである。  
③都によると、対象住宅メーカーは未定とのことであり、現時点では把握していない。  
④都への照会を行うとともに、積極的な情報提供に努めていく。市民から意見聴取する考えはないが、都の意見募集について、市ホームページで周知していく。



## 「東京都、新築住宅に太陽光パネル設備義務化」との報道について問う



迫田 晃樹議員 (自民)

市長 ①担当課から都へ問い合わせたところ、設置費用は建築主負担で、補助金については未定、自然災害等により被害が生じた場合は世帯主が加入する災害保険での対応を想定しているとのことである。  
②市に問い合わせがあった際は、施工業者に確認していただくようお願いするほか、廃棄物処理業者等を案内している。また、(一社)太陽光発電協会がホームページで引き取り業者を公開

## 車中泊旅行者の誘致について問う



議員 ①現状市内に車中泊ができる施設や場所はありますか。  
②道の駅設置が実現に至らなかった理由、要因を伺う。  
③市の公共施設にRVパークのような車中泊施設の設置を検討してはどうか。  
④市内の民間事業者へ車中泊施設導入を促すために補助制度を検討してはどうか。  
市長 ①公共施設や市営駐車場に可能な施設等はない。民間の施設については把握していない。  
②土地の確保や農産物等の土産品の安定供給、継続可能な運営について課題があり、設置は困難であると判断した。  
③設置自治体の取り組み状況について情報収集に努めるとともに、民間活力の導入を含めた市全体の公園の在り方を検討する中で、研究を進めていく。  
④他自治体の事例等の情報収集を行いながら、研究していく。

ウクライナ避難民の青梅市への受け入れについて問う

島崎 実議員 (自民)



議員 ①ウクライナ避難民への市の対応を伺う。

②国に対し避難民の受け入れを申し出ているか。

③受け入れの準備をすべきでは。④ウクライナ支援の立ち位置と具体的な支援策を伺う。

市長 ①現在、相談窓口は市民安全課としているが、具体的な支援内容については、国や都の支援内容を把握する中で検討していく。人道的立場から、可能な限りの支援を進めていく。

市民にとって便利な行政窓口について問う

湖城 宣子議員 (公明)



議員 ①マイナンバーカード普及への具体的な取り組みを伺う。②デジタル化についての市の方向性について伺う。③「書かない窓口」についての考えを伺う。④「おくやみコーナー」を含むなんでも相談窓口の設置についての考えを伺う。

市長 ①今年度は無料の休日申請サポートや出張申請サービスの回数を増やしている。また、

②国へ特段の申し出はしていない。対応方法等について庁内で協議を行っているところである。③市営住宅での受け入れを準備し、生活支援は個別に求められる対応を検討していく。

④募金活動等の支援を継続し、避難民の受け入れを視野に、国や都の情報収集に努め、具体的な支援策について、全庁一丸となって対応を進めていく。

市内自治会館の耐震及び老朽化の現状と今後の対応について問う

議員 ①自治会館の耐震性、老朽化の現状をどう捉えているか。

②耐震診断、耐震改修工事への補助率引き上げを検討しては。③新増築への補助率アップや市の建物との併設も検討しては。④建て替え等に市はどう対応していくのか。基金の創設や、国や都に対し支援の要請をしては。

市長 ①現在の耐震基準を満た

していないものが多くあると考えられ、老朽化も進んでいると捉えている。老朽化への対応は市としても課題と捉えている。②支援拡充を検討していく。

③他市の制度の調査等、拡充について研究していく。併設については公共施設の在り方を踏まえ、研究していく。④基金の創設については総合的判断の中で研究していく。国や都へ支援制度の創設、(一財)自治総合センターへ既存制度の拡充を求めていく。

中学校英語スピーキングテストについて問う

議員 ①テストの目的と内容、実施方法について伺う。

②11月のテスト実施までの取り組みは。家庭での取り組みはどう指導していくのか。③英語学力向上に向けての市教育委員会の方針を伺う。

教育長 ①生徒の英語で話す力

を高めることを目的とし、今年度から中学3年生を対象に実施する。内容は英文の読み上げ等で、タブレット端末やイヤホンマイク等を使用して実施する。②教材の使用方法的確認や事前学習を行う。家庭学習ではタブレット端末を活用していく。

③習熟度別授業や教員の授業力向上等に取り組んでいる。また、英語の授業と他の教科等との関連を図り、英語以外の授業において、英語を活用する場面を設定する等の取り組みを検討していく。多角的な方策をもって、英語学習に対する意欲喚起と英語力の向上を図っていく。

母子健康手帳の電子化、子育てアプリとの連携について問う

議員 ①母子健康手帳の電子化、子育てアプリとの連携について伺う。

②母子健康手帳アプリの導入に効果的な施策を実施していく。③新たにDX推進担当部署を設置した。若手職員や女性職員中心のワーキンググループを立ち上げ実施する。スマートフォン教室も引き続き実施していく。④市民の負担軽減や事務の効率化等を図るうえで効果的な手法と捉えている。システム構築にかかるコスト等、課題はあるが、導入に向け検討を進めていく。

市長 ①毎年度最新の内容の母子健康手帳を購入し、妊娠届出書を提出された妊婦の方へ保健師が面談し、重要性や使い方を説明のうえ直接お渡ししている。②都の補助制度を受け、子供手帳モデルの追加内容が反映された母子健康手帳を購入し配付している。子どもの特性に応じた専用の手帳を購入し対象者に配布することを検討していく。③運営業者と子育てアプリの機能や利便性の向上を図る中

時を取り組みを伺う。

高齢者等の外出支援について問う

久保 富弘議員 (自民)



議員 ①多様な輸送資源の内容について現在の検討状況を伺う。

②地域公共交通改善制度の周知、活用状況について伺う。③移動支援として、介護事業者等の自動車を利用する等、既存ストックの活用を検討しては。④次期計画には既存ストックの活用や新しい交通モードも取り入れてほしいが市長の考えは。

市長 ①病院や商業施設の送迎バス等、地域の多様な輸送資源の活用も想定し、地域の移動二

次にきめ細かく対応できる移動手段の充実を検討している。②広報やホームページ等で周知している。市内の活用事例は成木地区のみである。③地域資源の活用、福祉事業者の協力等を視野に入れ、交通施策の全体の中で検討していく。④既存の公共交通の確保・維持を基本としつつ、既存ストックを活用した新たな交通システムを効果的、効果的なベストミックスとして検討し持続可能な地域公共交通体系の構築を目指す。

職員採用等について問う

議員 ①市職員の市内在住者の割合の推移を伺う。

②市内在住職員が減少していくことへの考えは。③市外在住の職員に移住・定住支援を周知してはどうか。④職員採用の際に市外の方へ移

正を予定しており、その修正を踏まえ、青梅市地域防災計画を修正していく。

住・定住支援の内容の周知とお願いをしているか。②平成24年度の職員の市内在住者の割合は74.7%、令和4年度は63.1%である。③職員が市内に住み、住民として当事者の立場で仕事ができることは行政運営を行ううえで有効である。災害時の対応からも、市内在住の職員は一定数必要であると考えている。④庁内メール等を活用し、PRしていく。

ジビエによる有害獣対策について問う

議員 ①食肉処理施設の設置について、検討状況を伺う。

②ジビエカーの活用への考えは。③西多摩広域行政圏で連携してジビエに取り組んでどうか。

市長 ①都内自治体の情報収集

を行った。公設民営の処理加工施設を設置している奥多摩町と比較すると、捕獲頭数が少ないこと、捕獲方法によりジビエとして供給できる食肉量が少ないことが課題と捉えている。②捕獲、輸送、処理を迅速かつ衛生的に行い、良質なジビエを安定供給することが可能となる一方、費用対効果の検証や、運用面等、整理すべき課題があるため、研究課題としていく。

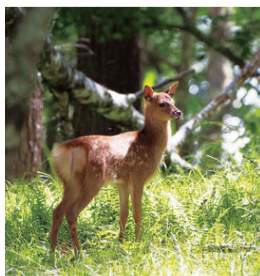
地域公共交通施策におけるデマンド型交通の導入について問う

議員 ①公共交通の現状と課題に対する市の認識を伺う。

②デマンド型交通の活用について市はどう認識しているか。③地域公共交通施策においてデマンド型交通をどう位置づけて進めていくのか。

市長 ①人口減少や少子高齢化、運転者不足等に加え、コロナ禍の影響により、公共交通の持続可能性が危ぶまれる一方、高齢者の運転免許返納の増加等に対応するため、市民の移動手段の確保が、ますます重要になっていくと認識している。市では、路線バスに対し公共負担を行い、移動手段の維持、確保に努め、公共交通ガイドを作成、配布する等利用促進に取り組んでいる。

近々、地方都市を中心に人口集積が低く、住居が点在する地域や、道路状況により、路線バスが運行できない地域等におい



て、デマンド型交通の導入を図られており、本市においても、今後、新たな交通システムを検討するに当たり、選択肢の一つと認識している。③地域住民のニーズや、費用対効果を勘案しながら、地域の特長に見合った利便性、効率性の高い持続可能な交通システムの構築へ向け、公共交通協議会で検討している。今年度末までに策定予定の、地域公共交通計画の中で新たな交通システムを位置づけ、「乗って守ろう!」使って育てよう!公共交通」の理念の下、持続可能な地域公共交通網の構築を目指していく。



### 不登校児童・生徒の支援について問う

山内 公美子議員  
(公明)



議員 ①登校支援室での令和3年度の不登校児童・生徒の支援状況と実績評価を伺う。

②校内フリースクール型の登校支援室のモデル校設置を目指し研究してほしいがどうか。

③フリースクールに通う児童・生徒を出席扱いにできないか。④民間団体と連携を図り多くの子どもたちの社会的自立に向けた支援体制をつくってほしいが、

### 子どもたちへの支援について問う

片谷 洋夫議員  
(フォーラム)



議員 ①市内の子ども食堂の現状は。補助を増額しては。②子どもたちの居場所をもっと増やしては。

③居場所支援をしている民間団体との連携は。④不登校の人数、出現率は。東京都の出現率との比較は。

⑤適応指導教室「ふれあい学級」へ通っている児童・生徒の人数は。不登校全体からみた割合は。⑥不登校児童・生徒は増加傾向だが今後の市の対策、取り組みは。市長 ①7団体が運営しており、

教育長 ①学校、家庭等と連携し、児童・生徒への支援や助言、保護者に対するの相談等を行っている。昨年度は、小学生16人、中学生7人へ支援を行い、登校できるよつになったものが2件、改善傾向にあるものが2件で、効果があったと認識している。

②先進的自治体の情報収集を行い、適切な支援を心がけていく。③学校外の施設で相談、指導を受けていること等の条件を満たしていれば校長は指導要録上の出席扱いとすることができ、校長会等で周知を徹底していく。

④さまざまな機関から意見を伺い、より良い連携の在り方について検討していく。

議員 ①市障害者計画の基本理念を実現するための課題は。

昨年度はうち2団体に補助した。補助金増額は利用状況等を調査し、必要性を研究していく。②子ども・子育て会議において協議していく。

③今年度市内のNPO法人が居場所作りに取り組み予定で、市は周知等の支援をしていく。今後はとも諸団体と密に連携する。教育長 ④令和2年度は小学生93人、中学生210人。市内出現率は小学校1・58%、中学校6・71%で、東京都平均の小学校1・06%、中学校4・93%より高い。

⑤令和3年度は小・中学生合わせて52人で、不登校児童・生徒全体の13%である。⑥フリースクールとの連携、ICTの活用など幅広い対応ができるよう学校へ指導している。

②デジタル障害者手帳ミライロIDの市での活用、周知は。③大人の発達障害がいへの支援体制の改善が必要ではないか。④児童発達支援センターは医療型、福祉型どちらを設置するか。専門医の確保、連携は。

⑤障がい者の情報格差をなくす施策に早急に取り組むべきでは。市長 ①障害者虐待防止の強化、また、相談、支援体制の充実とサービスの情報利用しやすさの向上が必要だと考えている。

②新規に身体障害者手帳を窓口で交付する際に説明している。今後の活用方法等について先進市の事例を情報収集していく。

③令和元年度に青梅市障がい者サポートセンターに相談員を1名増員したが、引き続き相談体制の充実を図っていく。

④検討委員会を設置し決定する。⑤国の動向を注視するとともに

### 青梅市の障がい者施策について問う

議員 ①市障害者計画の基本理念を実現するための課題は。

トナーシップ宣誓制度を開始するがその効果は。準備体制は。②パートナーシップ制度を市でも導入してはどうか。

③プライド月間である6月にLGBTQの理解促進イベント等を行うことは。市長 ④広域的かつ統一的な運用が図れることにより、性的マイノリティの方々暮らしやすい環境づくりにつながる効果が期待される。都の連絡会に参加しながら準備を進めていく。

②都が導入を進めていることから市単独では考えてない。③情報発信や啓発等の方法について

注。LGBTQについて問う  
パートナーシップ制度について問う

議員 ①11月から東京都がパ

に、障害のある方々の意見を尊重しながら、共生社会の実現に向けた施策等を推進していく。



### 「美味しく、安い」学校給食の実現を 一移住・定住促進のためにもアピールを

井上 たかし議員  
(共産)



議員 ①旧長淵水泳場でスケートパークを試験運用しているが、利用状況は。

②日曜日のみ利用可能だが、利用可能日を増やしては。③ウォーキングマップの配布状況や反応は。

④青梅の森や永山丘陵にトイレを設置しては。市長 ①青梅エクストリーム協会が運用しており、今年度は11日間で305人利用している。

②試験運用の結果等を踏まえ、協会と協議し検討する。③これまでに5万7000部作成し、市の施設等のほか、転入者にも配布し、好評を得ている。

④青梅の森については、自然環境の保全を基本に、入口付近の状況や周遊ルートの実態等を踏まえ検討する。

議員 ①給食1食の単価、他自治体と比較した際の水準を伺う。②子育てしやすいまちづくりを進めることが極めて重要と考えるが見解を伺う。

③給食費の一部を市が補助し、よりおいしい給食にし、移住・定住促進プランに盛り込んでいく。④国や都に給食費無償化を働きかけることが重要と考えるが。

教育長 ①小学校低学年が230円、中学年が245円、高学年が260円、中学校が300円で、多摩26市中低い方から9から11番目である。

④国や都に要請する考えはない。市長 ②子どもの安全、安心な居場所づくりや、保育所等の整備、保護者への経済的援助等、子育てしやすいまちと実感していただけるよう努めている。

③新たな魅力創出施策等の本プランへの追加は考えていない。

### 市のスポーツ振興について問う

議員 ①旧長淵水泳場でスケートパークを試験運用しているが、利用状況は。

②日曜日のみ利用可能だが、利用可能日を増やしては。③ウォーキングマップの配布状況や反応は。

④青梅の森や永山丘陵にトイレを設置しては。市長 ①青梅エクストリーム協会が運用しており、今年度は11日間で305人利用している。

②試験運用の結果等を踏まえ、協会と協議し検討する。③これまでに5万7000部作成し、市の施設等のほか、転入者にも配布し、好評を得ている。

④青梅の森については、自然環境の保全を基本に、入口付近の状況や周遊ルートの実態等を踏まえ検討する。

議員 ①公共交通に対する市民の意向をどう認識しているか。②次期地域公共交通計画では民間事業者による輸送手段をどのように位置付けていくのか。

③市内の事業者についてもニーズ調査や協議を始めては。④市の果たす役割は大きいと考えるが認識を伺う。

議員 ①公共交通安全に対する市民の意向をどう認識しているか。②次期地域公共交通計画では民間事業者による輸送手段をどのように位置付けていくのか。

③市内の事業者についてもニーズ調査や協議を始めては。④市の果たす役割は大きいと考えるが認識を伺う。

議員 ①公共交通安全に対する市民の意向をどう認識しているか。②次期地域公共交通計画では民間事業者による輸送手段をどのように位置付けていくのか。

③市内の事業者についてもニーズ調査や協議を始めては。④市の果たす役割は大きいと考えるが認識を伺う。

職員 ①飲酒運転をした病院職員が停職一か月の懲戒処分となったが、他自治体と比べて軽いのではないか。

②審査委員会の議事録がない。検証のため作成すべきでは。③同じ青梅市に属しているのに市役所と病院の処分はかい離していないか。

④飲酒運転への社会の目は非常に厳しくなっている。今後は他自治体事例をもっと調査しては。病院事業管理者 ①病院の懲戒分限審査委員会、職員の懲戒

職員 ①市役所でセクハラ事件があり、職員が停職処分とされた。セクハラ防止のため、また市民の信頼に配慮される組織となるための今後の対応は。②セクハラ、パワハラを内部通報制度に組み込む考えはあるか。③内部通報制度はより相談しやすく被害者を守ることが可能な外部委託にすべきと考えるが。

議員 ①令和3年12月以降の市の取り組みを伺う。

議員 ①令和3年12月以降の市の取り組みを伺う。

議員 ①令和3年12月以降の市の取り組みを伺う。

議員 ①令和3年12月以降の市の取り組みを伺う。

議員 ①令和3年12月以降の市の取り組みを伺う。

議員 ①令和3年12月以降の市の取り組みを伺う。

議員 ①令和3年12月以降の市の取り組みを伺う。

議員 ①令和3年12月以降の市の取り組みを伺う。

議員 ①令和3年12月以降の市の取り組みを伺う。

議員 ①令和3年12月以降の市の取り組みを伺う。

②米軍のビバリーモーニング訓練等の情報提供の有無、対応は。③三沢基地の部隊の訓練を横田基地で行った理由を把握しているか。

④米軍と日本政府に訓練を行わないよう要請すべきではないか。市長 ①あきる野市長、日の出町長との連名で迅速な情報提供を要請する等してきた。

②横田防衛事務所より情報提供を受けた。市街地上空での低空、旋回飛行訓練は行わないこと、安全対策に万全を期すこと等を要請した。

③自由で開かれたインド太平洋の安全保障維持に必要不可欠なことであった。④市民の生活環境に影響のある訓練には、これまで市として対策の徹底を関係機関に求めてきた。市民の安全、安心のため、市として引き続き対応していく。

議員 ①市内の障がい者グループホームで職員による虐待があり、利用者が亡くなった、と報道されている。虐待を防ぐため利用者の率直な声を聴く第三者委員等の設置を市内施設に呼びかけてはどうか。

②グループホームに第三者委員を設置しているか等について実態調査を行っては。③市として第三者委員の育成や案内に取り組んでどうか。

市長 ①障害者虐待防止講演会や青梅市福祉施設連絡会で、外部委員による運営評価の有効性、虐待の早期発見に向けた取り組みの重要性について働きかける。副市長 ②グループホーム等へ調査等の協力を求めていく。

③国の動向も踏まえ、事業者へ働きかけていく。「他の質問：市内小中学校の校則等の見直しはいつ進むのか」

「他の質問：市内小中学校の校則等の見直しはいつ進むのか」

「他の質問：市内小中学校の校則等の見直しはいつ進むのか」



### 買物不便対策は民間事業者とも協力を

議員 ①公共交通に対する市民の意向をどう認識しているか。②次期地域公共交通計画では民間事業者による輸送手段をどのように位置付けていくのか。

③市内の事業者についてもニーズ調査や協議を始めては。④市の果たす役割は大きいと考えるが認識を伺う。

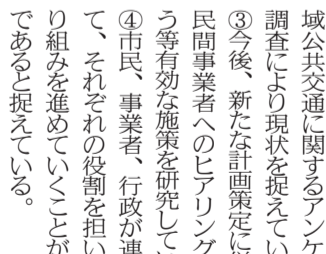
議員 ①公共交通に対する市民の意向をどう認識しているか。②次期地域公共交通計画では民間事業者による輸送手段をどのように位置付けていくのか。

③市内の事業者についてもニーズ調査や協議を始めては。④市の果たす役割は大きいと考えるが認識を伺う。

議員 ①公共交通に対する市民の意向をどう認識しているか。②次期地域公共交通計画では民間事業者による輸送手段をどのように位置付けていくのか。

③市内の事業者についてもニーズ調査や協議を始めては。④市の果たす役割は大きいと考えるが認識を伺う。

議員 ①公共交通に対する市民の意向をどう認識しているか。②次期地域公共交通計画では民間事業者による輸送手段をどのように位置付けていくのか。



### 障がい者への虐待を防ぐためのしくみを推進しよう

議員 ①市内の障がい者グループホームで職員による虐待があり、利用者が亡くなった、と報道されている。虐待を防ぐため利用者の率直な声を聴く第三者委員等の設置を市内施設に呼びかけてはどうか。

②グループホームに第三者委員を設置しているか等について実態調査を行っては。③市として第三者委員の育成や案内に取り組んでどうか。

市長 ①障害者虐待防止講演会や青梅市福祉施設連絡会で、外部委員による運営評価の有効性、虐待の早期発見に向けた取り組みの重要性について働きかける。副市長 ②グループホーム等へ調査等の協力を求めていく。

③国の動向も踏まえ、事業者へ働きかけていく。「他の質問：市内小中学校の校則等の見直しはいつ進むのか」

「他の質問：市内小中学校の校則等の見直しはいつ進むのか」

「他の質問：市内小中学校の校則等の見直しはいつ進むのか」

「他の質問：市内小中学校の校則等の見直しはいつ進むのか」

営業と暮らしを脅かす消費税インボイス制度は中止の声を

藤野 ひろえ 議員 (共産)



議員 ①インボイス制度導入で中小企業、商店等への影響は...

模事業者のうち、具体的な業種や数字は把握できないが、多くの事業者に影響が及ぶと推測される。

②インボイス制度は国税の制度改正であることから、今後の国の動向およびシルバー人材センターへの影響等について、引き続き注視していく。

③商工会議所が開催する相談会の広報等での周知や会場の提供を予定している。

④市議会が行う、市内事業者のデジタル化を促進する事業への補助を予定しており、インボイス制

くても、ほすすべての施設の建て替えは出来るのではないかと購入を断念するという考えもあるのではないかと。

市長 ①永山公園総合運動場などは、統廃合を視野に入れて検討していく。

②現在の総合体育館の利用状況等も精査し、一定期間併設の使用も考慮している。

③データセンター等の施設を設置することにより、将来的な体育施設の維持管理が可能になる。

④青梅市公共施設等総合管理計画の推進に関する検討を行っている。

⑤極めて優れた社会資源であり、総務企画委員会での議論を踏まえ、取得していく考えである。



補聴器の支給、購入費助成と健診での聴力検査の実施について問う

議員 ①障害者手帳を持たない18歳以上への補聴器購入の助成を検討すべきではないか。

②認知症予防のためにも特定健診等で聴力検査実施を求めるが、国に対し、補聴器購入の公的支援、特定健診等における聴力検査の実施を要望してほしいか。

市長 ①すでに18歳未満の中等度難聴児に対しては、補聴器の購入費用の給付を実施している。

現時点で18歳以上への助成

を行う考えはない。②メタボリックシンドロームに着目した健診であり、検査項目に含まれていないため、追加する考えはない。

③助成については国に対し全国市長会から提言している。

検査の実施については国への要望は考えていない。

釜の淵の河川敷はバーベキュー場にあらざり川合玉堂が愛した青梅の景観を保全しよう

ぬのや 和代 議員 (立憲)



②各学校において教材を選定する際に、使用頻度が高くなる、個人所有でなくてもよいものについては、学校で購入して児童生徒に貸し出す方法が取れないか検討を行う等、保護者負担が過度にならないよう指導していく。

③就学援助制度、就学奨励制度の周知に努めるとともに、保護者の負担が過度にならないよう、今後各校長会等の機会を捉えて、各学校に要請していく。

議員 ①釜の淵一帯を含めた河川敷について狭山市のようパークPFI制度等による民間活力の活用を考えるとどうか。

②視察や地元金融機関の話聞く等、研究を進めては。

③将来的に河川をどう活用していくのか。

市長 ①今後研究していく。②他自治体の取り組みについて情報収集に努める。

議員 ①釜の淵の河川敷をバーベキュー場として紹介しているサイトに市として訂正を申し入れたことあるか。

②バーベキュー客は市外の方が多いため、良質な関係人口となり得るものか、河川敷を荒らす有害な客と見るか、市長の見解は。

③釜の淵公園の河川敷の占有届を出さないのはなぜか。

④花木園等市内公園のバーベキュー施設を整備、充実させては。

市長 ①河川敷は自由に使用できるため、要請はしていない。

②バーベキュー客には、市内店舗で食材等を買ひ、ごみを持ち帰る方がいる一方、不法投棄等の迷惑行為をする方もいることは認識しているが、区分けできないものではないかと考えている。

③河川敷の河原部分は国が管理

問事業者の導入にあたっては、金融機関等の関係諸団体からも情報収集していく。

③釜の淵エリアについて、民間事業者等からの意見も参考に、官民連携で視野に入れた整備手法や具体的な方策について、検討していく。

議員 ①人員配置はどのような考え方で実施しているのか。

②異動についての考え方を伺う。③社会情勢により、特定の部署に負担がかかった場合の人員サポート体制はどのようなものか。

しているものであり、市が占用することは考えていない。

④今後、花木園の広場を拡大し、充実、整備していきたい。

旧釜の淵市民館の取壊しは、税金の無駄遣いで建築廃材の大量排出である。郷土博物館を移動して釜の淵地区を文化の拠点に

議員 ①旧釜の淵市民館はまだ十分使用できると考えるが、取り壊し、民間を誘致する理由は。

②郷土博物館をリアフリーに改装しないのはなぜか。

③明星大学青梅キャンパスの跡地に郷土博物館を移転する計画をどうしている。

③所属長の判断で課内、部内での応援体制をとるほか、会計年度任用職員の任用や、他部署に異動した業務経験のある職員に応援を依頼する等している。

④段階的、容器包装プラスチックごみの回収を増やすこと、自治会等による資源回収への支援を検討してはどうか。

⑤ブロック塀補助金の単価の見直し、負担軽減を検討しては。

市長 ①高齢化等による社会状況の変化を適切に捉え、新規入居希望者に配慮しながら、既存入居者の生活環境の安定化を図れるよう早急に検討していく。

②不動産関係団体等とも協議を進めながら、住宅確保要配慮者への支援体制が構築できるようなり組んでいく。

があるという意見がある。④旧釜の淵市民館に郷土博物館を移転してはどうか。

市長 ①活用検討委員会での研究の結果、施設を解体し、更地としたうえで釜の淵エリア一帯としての具体的な利活用について検討していくこととした。

③総務企画委員会の資料で、案の1つとして示したものである。

教育長 ②大規模改修は施設の内部構造への負荷等の影響から行っていない。

副市長 ④旧釜の淵市民館は取り壊す方向で進めている。

病院ケースワーカー、市役所職員は障害者手帳について十分な周知活動をしているか

議員 ①総合病院では障害者が残る可能性がある場合、早めに住宅確保要配慮者に対し、居住者支援協議会の設置等、早急に支援に取り組みすべきではないか。

③粗大ごみ運び出しサービスの対象者の基準や確認方法が明確でない。要綱の見直しをしては。

④段ボール、容器包装プラスチックごみの回収を増やすこと、自治会等による資源回収への支援を検討してはどうか。

⑤ブロック塀補助金の単価の見直し、負担軽減を検討しては。

市長 ①高齢化等による社会状況の変化を適切に捉え、新規入居希望者に配慮しながら、既存入居者の生活環境の安定化を図れるよう早急に検討していく。

障害者手帳についてケースワーカーから伝えて欲しいがどうか。

②市の職員は障害者手帳の周知について十分指導されているか。

③生活保護が廃止となる場合、障害者手帳や心身障害者医療費助成制度を案内しているか。

④総合病院では大動脈疾患の患者を心臓疾患として障害者認定しているか。

病院事業管理者 ①主治医から障害者手帳の申請について案内している。

④都の身体障害認定基準に従い該当者を判断し案内している。

市長 ②障がい者福祉課につき、適切に対応している。

③ケースワーカーが案内や手続きの支援を行っている。

「他の質問：小学校家庭遊具の長寿命化管理について問う」

議員 ①庁用車のカーシェアリングの導入を検討しては。

②車両管理システムを導入し、一元管理、共用化してはどうか。各課の優先車両は廃止しては。

公用車管理の効率化とシェアリングの推進を

議員 ①庁用車のカーシェアリングの導入を検討しては。

②車両管理システムを導入し、一元管理、共用化してはどうか。

③ゼロカーボンシティ実現に向けた市長の決意を伺う。

市長 ①民間事業者や先進自治体の導入事例を情報収集する。

②システムについて他自治体における事例等について研究していく。

優先車両すべてを廃止することには困難だが、運用状況を改めて確認し、予約システムの登録内容を見直す等、より効率的な運用を図っていく。

議員 ①明星大学青梅キャンパスを購入した場合、現在のスポーツ施設はどうするのか。

②総合体育館は現在地に残す方向で最大限知恵を絞る必要があるのではないかと。

③自然環境活用ゾーンの青梅キャンパスにデータセンター等の誘致を目指す理由を伺う。

④将来の公共施設の用地にすることも目的になっているが、根拠布に転移予定の藤橋の給食センターの土地の活用や、あるいは施設を利用しながら現在地での建て替えが出来ることもあり、青梅キャンパスを購入しな

明星大学青梅キャンパスの購入問題について問う

みねざき 拓実 議員 (共産)



議員 ①市内の小・中学校における私費負担の傾向を伺う。

②私費負担を軽減していくべきことと負担を軽減していくべきと考えるが、市の考えを伺う。

③私費負担の軽減について今後どう対応していくのか。

教育長 ①副教材費等を学校徴収金として保護者から徴収している。

令和2年度の小学校の平均徴収額は、児童一人当たり6年間分約6万7千円、中学校は、生徒一人当たり、3年間分約5万7千円、制服等保護者が直接業者に支払うものは含まれていない。

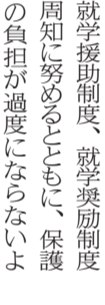
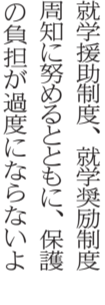
教育費における私費負担について問う

大勢待 利明 議員 (フォーラム)



議員 ①釜の淵の河川敷はバーベキュー場にあらざり川合玉堂が愛した青梅の景観を保全しよう

ぬのや 和代 議員 (立憲)



議員 ①釜の淵の河川敷をバーベキュー場として紹介しているサイトに市として訂正を申し入れたことあるか。

市長 ①今後研究していく。②他自治体の取り組みについて情報収集に努める。

議員 ①釜の淵一帯を含めた河川敷について狭山市のようパークPFI制度等による民間活力の活用を考えるとどうか。

②視察や地元金融機関の話聞く等、研究を進めては。

③将来的に河川をどう活用していくのか。

市長 ①今後研究していく。②他自治体の取り組みについて情報収集に努める。

議員 ①釜の淵の河川敷をバーベキュー場として紹介しているサイトに市として訂正を申し入れたことあるか。

しているものであり、市が占用することは考えていない。

④今後、花木園の広場を拡大し、充実、整備していきたい。

旧釜の淵市民館の取壊しは、税金の無駄遣いで建築廃材の大量排出である。郷土博物館を移動して釜の淵地区を文化の拠点に

議員 ①旧釜の淵市民館はまだ十分使用できると考えるが、取り壊し、民間を誘致する理由は。

②郷土博物館をリアフリーに改装しないのはなぜか。

③明星大学青梅キャンパスの跡地に郷土博物館を移転する計画をどうしている。

③所属長の判断で課内、部内での応援体制をとるほか、会計年度任用職員の任用や、他部署に異動した業務経験のある職員に応援を依頼する等している。

④段階的、容器包装プラスチックごみの回収を増やすこと、自治会等による資源回収への支援を検討してはどうか。

⑤ブロック塀補助金の単価の見直し、負担軽減を検討しては。

市長 ①高齢化等による社会状況の変化を適切に捉え、新規入居希望者に配慮しながら、既存入居者の生活環境の安定化を図れるよう早急に検討していく。

②不動産関係団体等とも協議を進めながら、住宅確保要配慮者への支援体制が構築できるようなり組んでいく。

があるという意見がある。④旧釜の淵市民館に郷土博物館を移転してはどうか。

市長 ①活用検討委員会での研究の結果、施設を解体し、更地としたうえで釜の淵エリア一帯としての具体的な利活用について検討していくこととした。

③総務企画委員会の資料で、案の1つとして示したものである。

教育長 ②大規模改修は施設の内部構造への負荷等の影響から行っていない。

副市長 ④旧釜の淵市民館は取り壊す方向で進めている。

病院ケースワーカー、市役所職員は障害者手帳について十分な周知活動をしているか

議員 ①総合病院では障害者が残る可能性がある場合、早めに住宅確保要配慮者に対し、居住者支援協議会の設置等、早急に支援に取り組みすべきではないか。

③粗大ごみ運び出しサービスの対象者の基準や確認方法が明確でない。要綱の見直しをしては。

④段階的、容器包装プラスチックごみの回収を増やすこと、自治会等による資源回収への支援を検討してはどうか。

⑤ブロック塀補助金の単価の見直し、負担軽減を検討しては。

市長 ①高齢化等による社会状況の変化を適切に捉え、新規入居希望者に配慮しながら、既存入居者の生活環境の安定化を図れるよう早急に検討していく。

障害者手帳についてケースワーカーから伝えて欲しいがどうか。

②市の職員は障害者手帳の周知について十分指導されているか。

③生活保護が廃止となる場合、障害者手帳や心身障害者医療費助成制度を案内しているか。

④総合病院では大動脈疾患の患者を心臓疾患として障害者認定しているか。

病院事業管理者 ①主治医から障害者手帳の申請について案内している。

④都の身体障害認定基準に従い該当者を判断し案内している。

市長 ②障がい者福祉課につき、適切に対応している。

③ケースワーカーが案内や手続きの支援を行っている。

「他の質問：小学校家庭遊具の長寿命化管理について問う」

議員 ①庁用車のカーシェアリングの導入を検討しては。

②車両管理システムを導入し、一元管理、共用化してはどうか。各課の優先車両は廃止しては。

審議された議案と議決結果

◆賛否が分かれた議案◆

【○…賛成 ×…反対】

Table with columns for district, proposal number, proposal name, decision result, and 24 council members' votes.

※会派の表示は次のとおりです。[自民…自民クラブ(無所属8人、自民党3人)、公明…公明党(4人)、市フ…市民フォーラム青梅(3人)、共産…日本共産党青梅市議団(3人)、みどり…みどりのオンブズマン(1人)、立憲…立憲民主党(1人)]

◆全会一致で可決された議案◆

Table listing proposals approved unanimously, including budget adjustments and administrative matters.

※議1…議案第1号 議員1…議員提出議案第1号

陳情の審議結果

陳情3第15号(趣旨採択)

デフリンピック東京開催を求める意見書の提出に...

陳情3第16号(不採択)

河辺駅南口駐輪場に関する陳情

陳情4第1号(不採択)

国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情

全員協議会から

(6月21日)

市長提出事項

「第7次青梅市総合長期計画」の策定状況について

青梅市立総合病院の名称変更について

青梅市立総合病院を当事者とした訴訟事件の概況について

議長提出事項

議会選出の各種議員・委員について

特別委員会から

総合病院建替特別委員会

(6月16日)

新病院建設工事の進捗状況について

青梅市立総合病院の名称変更について

東青梅1丁目地内諸事業用地等特別委員会

(5月17日)

委員長互選

(6月21日)

青梅駅前地区市街地再開発事業について

(6月27日)

参考人の出席要求について

福祉文教委員会 研修会を開催

いじめ防止対策について

6月16日に特定非営利活動法人プロテクトトルドレ...

議員提出による意見書案が6月27日の本会議で可決...

意見書

「選択的夫婦別姓制度の議論を求める意見書」

現行民法は、婚姻時に夫婦のいずれか一方の姓を改め、夫婦同姓とすること...

しかしながら、家族の在り方も多様化し、女性活躍を推進する現代において...

近年では、初婚年齢が上昇し、男女とも生まれ育った氏名(姓)で長年にわたって...

平成27年12月、最高裁判所において、夫婦同姓規定自体は合憲と判断されたが...

令和3年6月の判決においても同様の判断を示している。

夫婦同姓を義務付けているのは、世界で日本だけである。



6月16日に開催された 福祉文教委員会研修会 の様子

Graphic with text: 政治家、有権者の方々へ 贈らない 求めない 受け取らない



あり、国連の女子差別撤廃委員会からも繰り返し法改正するよう勧告を受けている。多様性を認める社会、男女共同参画、基本的な人権の尊重の観点から、世論の動向や最高裁判所の判断の趣旨も踏まえたうえで、国会及び政府の責務において...

◆令和4年青梅市議会定例会9月定例議会会議予定◆

Table showing the schedule for the September special session, including dates, times, and topics like budget review and committee reports.



会議予定は、変更になる場合がありますので、お問い合わせいただくか、青梅市議会ホームページでご確認ください。 ※傍聴のお問い合わせ：議会事務局(内線2202) ○本会議の様子はインターネットで生中継および録画中継により配信しています。 ○本会議録および委員会録は、会議録検索システムで閲覧できます。